

温室効果ガスの排出量について

<概要>

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づく地方公共団体実行計画として、令和6年3月に「小笠原村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を改定。

同法第21条第15項に基づき、地方公共団体実行計画に基づく措置及び施策の実施の状況（温室効果ガス総排出量を含む。）を公表しなければならないとされており、今般、2022年度（令和4年度）の温室効果ガスの排出量が集計されたため、村のホームページで公表する。

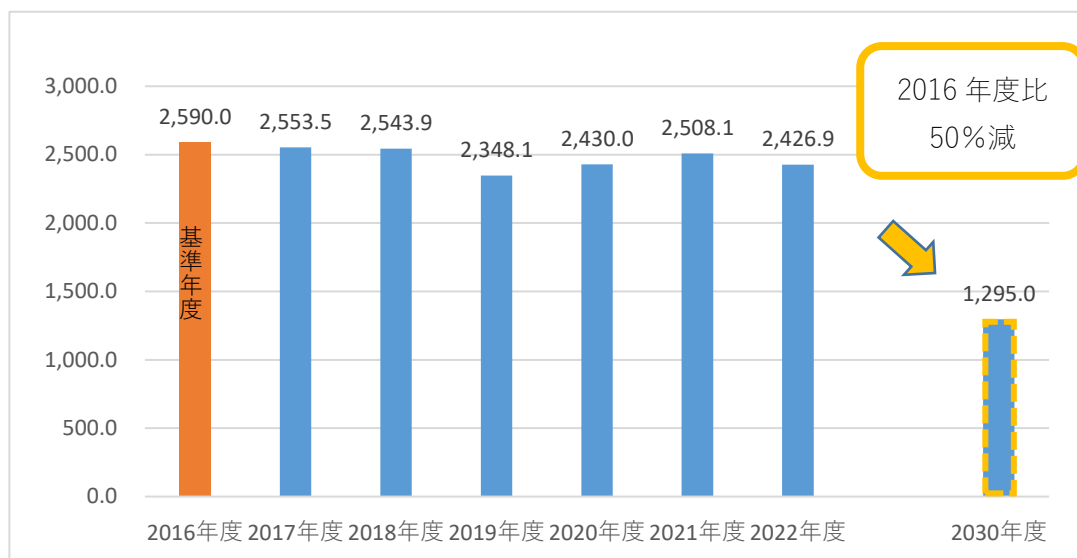
（1）実行計画における温室効果ガス削減目標

本実行計画における温室効果ガス削減の目標値については、政府実行計画の2030年度の削減目標に準じて、本村の事務事業に伴い排出される温室効果ガス総排出量を、目標年度（2030年度）までに基準年度（2016年度）比で、50%削減することを目標とする。

	基準年度（2016年度）	目標年度（2030年度）
温室効果ガス排出量	2,590.0[t-CO ₂]	1,295.0[t-CO ₂]
削減率	—	50%

（2）温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量の推移

	温室効果ガス排出量	基準年度比	前年度比
2016年度 (基準年度)	2590.0(t-CO ₂)	100(%)	—
2017年度	2553.5(t-CO ₂)	98.6(%)	98.6(%)
2018年度	2543.9(t-CO ₂)	98.2(%)	99.6(%)
2019年度	2348.1(t-CO ₂)	90.7(%)	92.3(%)
2020年度	2430.0(t-CO ₂)	93.8(%)	103.2(%)
2021年度	2508.1(t-CO ₂)	96.8(%)	103.2(%)
2022年度	2426.9(t-CO ₂)	93.7(%)	96.8(%)



(内訳 その1) 購入電気使用の推移

	温室効果ガス排出量
2016年度	1,955.3 (t-CO ₂)
2017年度	1,943.8 (t-CO ₂)
2018年度	2,014.3 (t-CO ₂)
2019年度	1,825.3 (t-CO ₂)
2020年度	1,828.3 (t-CO ₂)
2021年度	1,852.7 (t-CO ₂)
2022年度	1,843.6 (t-CO ₂)

(内訳 その2) 一般廃棄物の焼却の推移

	温室効果ガス排出量	焼却量	プラスチック類割合
2016年度	412.5 (t-CO ₂)	677 (t)	33.1%
2017年度	386.1 (t-CO ₂)	667 (t)	32.8%
2018年度	319.6 (t-CO ₂)	618 (t)	26.0%
2019年度	342.6 (t-CO ₂)	556 (t)	34.8%
2020年度	394.5 (t-CO ₂)	603 (t)	40.4%
2021年度	455.1 (t-CO ₂)	700 (t)	32.1%
2022年度	398.6 (t-CO ₂)	685 (t)	33.6%

(内訳 その3) 燃料使用(ガソリン、灯油、軽油、A重油、ガス)の推移

	温室効果ガス排出量
2016年度	221.9(t-CO ₂)
2017年度	223.6(t-CO ₂)
2018年度	210.0(t-CO ₂)
2019年度	180.2(t-CO ₂)
2020年度	207.1(t-CO ₂)
2021年度	200.3(t-CO ₂)
2022年度	184.8(t-CO ₂)

(3) 今後の主な課題

- 日々の事務事業における省エネの徹底及び資源のリサイクル推進
- LED照明の導入
- 公共施設における省エネ・長寿命化の推進
- 公共施設への再生可能エネルギーの率先導入
- 廃棄物処理施設における効率化の推進
- 再エネ由来の電力調達を原則とした公用車のEV化